

# < 実践事例 大田区立萩中小学校 >

## 1. 取組・活動名

「体育・健康教育授業地区公開講座」

## 2. 取組・活動のねらい

- オリンピックに対する理解を深め、2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催国民であることへの意識と自覚を高める。
- オリンピックとの交流を通して、夢や目標をもつこと、質の高い努力をすることの大切さを学び、自分自身の人生に役立てる。
- オリンピック種目を体験したり、オリンピックの演技を間近で見たりすることによってスポーツのもつ魅力に触れ、スポーツと豊かに関わる。

## 3. 教育課程上の教科名・時数

「体育・2時間」「道徳・1時間」

## 4. 実施上の工夫

- ・オリンピックと事前打ち合わせを行い、本校児童の実態とねらいを確認し、実施内容を検討した上で当日を迎えた。
- ・地域、保護者に本事業の開催を周知し、地域と連携した取組にした。
- ・実践の様子を「萩中小学校オリパラ通信」にまとめ、各家庭や地域に配布したり、ホームページに掲載したりして広く周知した。

## 5. 本取組・活動の内容



### 「アスリート講演の様子」

- ・「夢をかなえるために」の演題で講演をいただき、オリンピックとしての責任の重さや大切にしているコーチの言葉を紹介して自分の夢をかなえるまでの道のりをお話しいただいた。
- ・強化合宿の様子やオリンピック本番の演技を映像で紹介していただいた。
- ・想像を絶する厳しい練習とメダル獲得の瞬間の映像を見て、体育館中が感動に包まれた。



### 「体験授業の様子」

- ・シンクロナイズドスイミングの基本的な技能やスピンなどの難易度の高い技を披露していただいた。
- ・「クロールや平泳ぎも速く泳げるのですか?」という質問に25mをクロールで泳いでくださった。あまりの速さに驚きの声が上がった。・ノーズクリップという鼻に水が入らないようにするための道具も紹介していただいた。



### 「体験授業の様子」

- ・3・4年生が、生まれて初めてシンクロナイズドスイミングを体験した。
- ・スカーリング（手を使って体を浮かせる技能）や足上げなどの基本技を指導していただいた。
- ・実際にやってみると難しい様子ではあったが、コツをつかんで浮くことができたり、みんなで同調して動いたりできた時の喜びは大変大きかった。



## 6. 成果

- ・オリンピックの2016リオデジャネイロオリンピック競技大会での活躍の様子を見たり、体験学習で実際に交流したりすることでオリンピックの素晴らしさやオリンピックの凄さを実感し、スポーツへの興味・関心が高まった。
- ・夢をかなえたオリンピックの話に感動するとともに尊敬の念を抱き、スポーツに限らず夢をもつことや苦しくてもあきらめずに毎日の努力を続けることの大切さを学んだ。また、自分の夢に向かって頑張る気持ちを強くもつことができた。
- ・スポーツの楽しさ、体を動かすことの楽しさ、人と交流する楽しさを十分に味わうことができ、生涯スポーツの観点でも大変貴重な時間となった。
- ・保護者、地域の方々にオリンピック・パラリンピック教育の周知することができた。